

あさがおのリースの作り方

○必要な道具 はさみ、軍手、モールまたはビニタイ（固定用）

○あさがおは、水を与えずに枯らしておく。（ただし、カラカラに乾燥させない）

・種を取ったあとのあさがおで制作できます。（作例のあさがおより、もっと後でよい）

※ 枯れて乾燥してしまうと、ポキポキ折れて作れなくなります。
乾燥してしまう前に制作してください。

1.あさがおの、葉と種、花などを取る。



※軍手をつけて作業してください。

○葉や種は、根元から切るとよい。（つるだけ、1本の紐のようになると作業しやすい）



○あさがおの種は毛が生えています。枯れると毛が堅いトゲになるので、直接触らないように気をつけてください。

○あさがおのつるや茎から汁が出ます。皮膚が弱い方はかゆくなったり、肌が荒れたりすることがあります。リースの制作中は手袋や、長袖などを着用して汁に触れないようにご注意ください。

2.あさがおの茎を、根元から 15cm くらいで切る。（適当でよい）
Y の字になっていたら切り離す。



○根元の茎は太いので、大人が切ってください。

○根元付近のつるが 1 本づつバラバラになるように、Y 字につながっている部分を切り離します。

3. つるをほどく。



○つるが少ない場合は、そのままほどいてください。

○写真のようにつるが多くからんでいる場合は、ほどくのが大変です。

4. 一番上の輪っかをはずし、つるを適当にまきつける。 (後でモールでしばるので適当でよい)



○巻きつける向きは適当でよい。

○つるが長くて扱いにくい場合は、「輪にそって一周円にする→残りを輪っかに巻きつける」

○名前プレートが前に来るように巻くと、名札として使えます。

○密度の低いところに巻きつけるようにし、つるが均等に輪に巻きつくようにする。

○ゆるめに巻くと、ボリュームが出ます。きつめにまくと、丈夫になります。

○切れたつるも、使えるようなら巻きつける。あまり短いものは捨てる。

○5～10 か所くらい、モールやビニタイでしばる。飾りも兼ねるので、好きなだけしばってよい。

丈夫になる。

※一人で難しいときは、押さえる人と結ぶ人に分かれて協力して作業する。

※このままよく乾かす。

リースの作り方：つるが多いとき

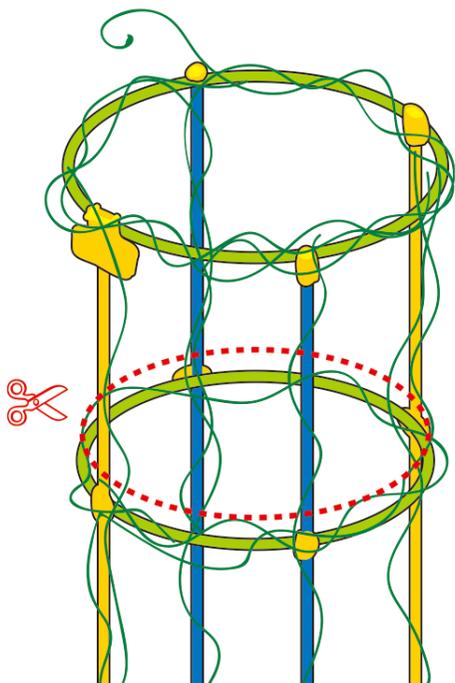
あさがおのつるがよく茂っている場合、つるが絡まり、ほどくのが大変です。

あさがおのつるがよく茂っている場合は、下図のように切ると制作が楽になります。

※つるの量が少ない場合は、切らずにほどいてください。
つるが短いと、輪っかに巻きつけることができません。

1. つるを、2段目の輪っかの上あたりで切る。

つるを、2段目の輪っかの上あたりで切る。

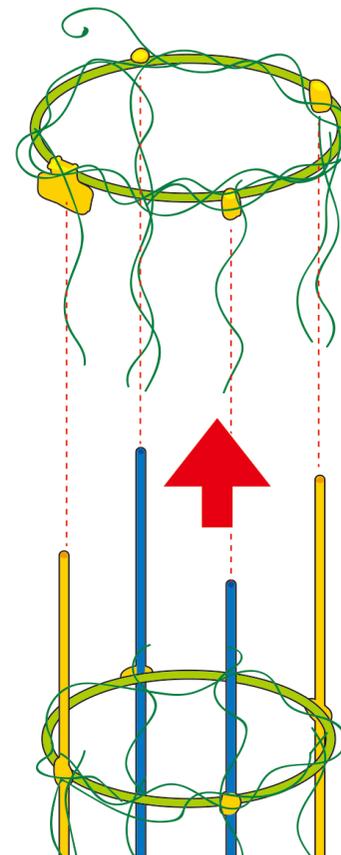


○つるは長い方が良いので（リースが丈夫になる）、2段目の輪のすぐ上で切るようにしてください。

○2段目の輪っかにまきついている（横向きの）つるは、切らないでください。

2. 一番上の輪っかはずす。

一番上の輪っかはずす。

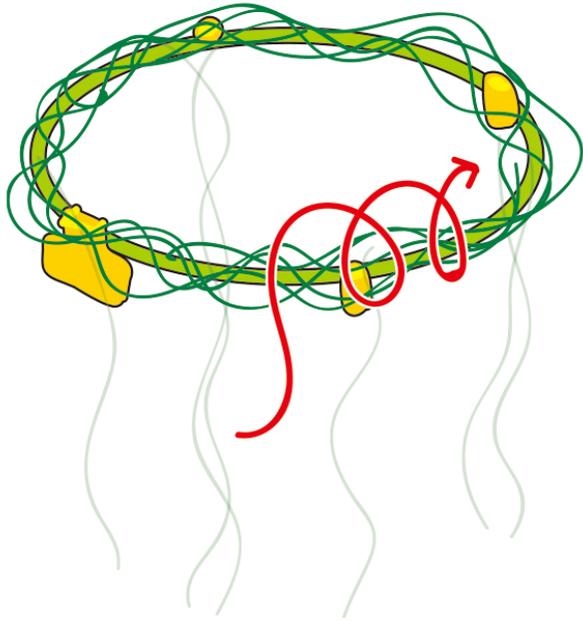


○上にはずれません。棒と、棒のささっている部分を持って上下に外してください。

○日付プレートにひっかかるかもしれないので、あらかじめ外してください。

3.垂れているつるを輪っかに巻きつける。(適当な向きでよい)

垂れているつるを輪っかに巻きつける。
(適当な向きでよい)



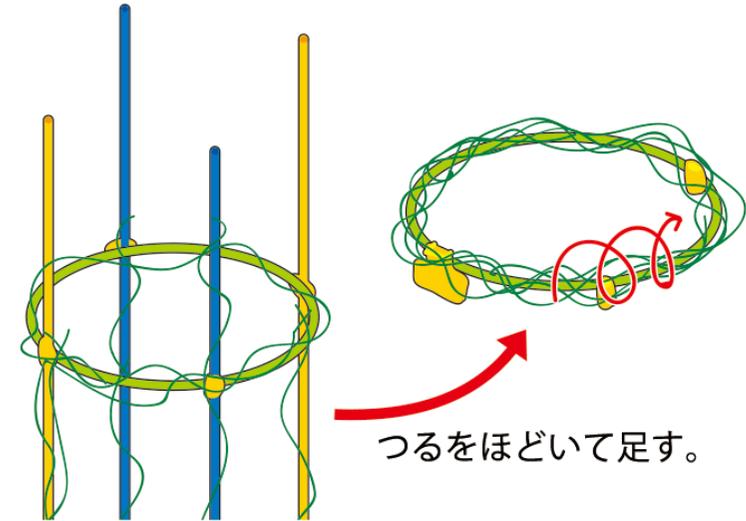
○短いので巻きつきにくいです。(1~2回しか巻けないと思う)

形がいびつでも気にせずそのままOKです。

次の4で形を整えます。

4.残ったつるは丁寧にほどき、ほどけたら輪っかに巻きつける。

残ったつるは丁寧にほどき、
ほどけたら輪っかに巻きつける。



○支柱に残ったつるをほどきます。上から(2段目の輪)ほどくと、ほどきやすいと思います。

○巻きつける向きは適当でよい。

○3.でつるをうまく巻きつけられなかった人は、ここで足したつると一緒にまきつけましょう。

○密度の低いところに巻きつけるようにし、つるが均等に輪に巻きつくようにする。

○ゆるめに巻くと、ボリュームが出ます。きつめにまくと、丈夫になります。

○あまり短いつるは巻きつきにくいので捨てる。

○5~10か所くらい、モールやビニタイでしばる。飾りも兼ねるので、好きなだけしばってよい。

丈夫になる。

※このまま風通しの良いところでよく乾かす。